

川の市民情報

2017年

10

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所RCM事務局 URL: <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL: 045-503-4015 FAX: 045-503-4092 メール: ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM):住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

「洪水時に特化した低コストな水位計」の現場実証を 鶴見川水系鳥山川(横浜市港北区)で開始しました

国土交通省と民間企業チームで開発中の「洪水時に特化した低コストな水位計」を、京浜河川事務所が管理する鶴見川水系鳥山川に設置し、試験計測を開始しました。

中小河川においては、予算的な制約等により水位計が設置されていない河川が多く、洪水時の避難行動の目安となる水位が把握できないため、逃げ遅れによる人的被害が発生しています。

そのため国土交通省では、洪水時のみの水位観測に特化し最新の科学技術を活用することにより、機器の小型化や電池及び通信機器等のコストを低減した水位計について、革新的河川管理プロジェクト(第1弾)として参加企業12チーム(21者)と開発を進めています。

各チームの試作機器の準備が整い、京浜河川事務所が管理する鶴見川水系鳥山川を現場実証フィールドとして、試験計測を開始しました。

今後、今年の台風期において鳥山川の水位上昇時に計測を実施し、平成29年内に計測の確実性や計測データの精度等について検証を行った後、平成30年から全国の国管理河川への設置を進める予定です。

洪水時に特化した低コストな水位計を開発することにより、都道府県等が管理する中小河川等への水位計の普及を支援し、水位観測網の充実を図ります。

現場実証(クラウド型・メンテナンスフリー水位計)

実施日:平成29年9月より全チームの試験計測を開始
(8月から各チームの機器を順次設置)
場所:鶴見川水系鳥山川(横浜市港北区)

水位計設置箇所

位置図



堤防設置タイプ 機器設置状況(7機種)



※上流4機種のうち1機種は堤防設置と同機種

クラウド型・メンテナンスフリー水位計 現場実証の機器事例

堤防設置タイプ

水圧式



直接検出式



橋梁設置タイプ

超音波式



画像処理式



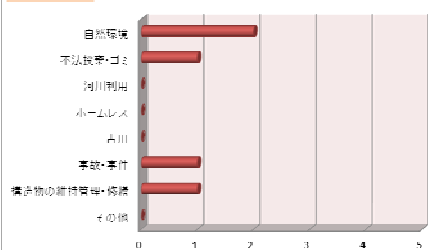
RCM活動報告

平成29年8月及び9月

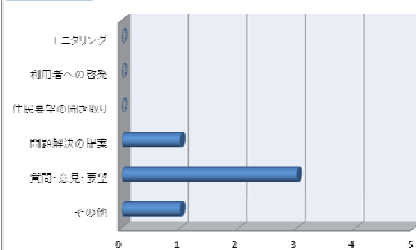
平成29年8月は5件、9月は6件の報告をいただきました。ありがとうございました。

8月

対象分野



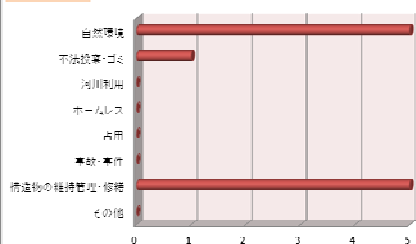
連絡内容



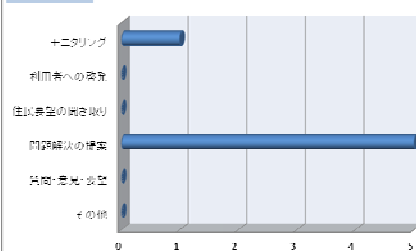
管 轄 区 間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	5人	0人	0件
鶴見川上流	6人	1人	2件
多摩川下流	6人	1人	1件
多摩川中流	8人	1人	1件
多摩川上流	0人	0人	0件
相模川	8人	1人	1件
浅川	5人	0人	0件
合 計	38人	4人	5件

9月

対象分野



連絡内容



管 轄 区 間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	5人	0人	0件
鶴見川上流	6人	1人	5件
多摩川下流	6人	0人	0件
多摩川中流	8人	0人	0件
多摩川上流	0人	0人	0件
相模川	8人	1人	1件
浅川	5人	0人	0件
合 計	38人	2人	6件

平成29年度第1回リバーシビックマネジャー分科会を開催しました。

京浜河川事務所では、RCMの皆様の活動内容の発表や情報交換、RCM相互間の交流等を目的として、毎年2回担当する河川ごとの分科会を開催しています。

平成29年度第1回の分科会は9月に下記の日程と会場で実施し、5名のRCMの方から資料を使用して発表いただきました。

皆さんお忙しいところご参加いただき、また活発なご発言ありがとうございました。

【分科会で出された意見等の一部と当方の返答です】

- ・河川敷の樹木の伐採はどうするのか。
→洪水を安全に流下させるという観点からは、高水敷の樹木は無いほうが良いと考えています。伐採は、樹木が生育してからだと鳥の飛来など野鳥の環境としては良くなる面もあり難しくなりますが、厳しい予算面から大規模に伐採出来ていないのが現状です。
- ・堤防天端の舗装は、決壊した際には塊が堤内地に流れて危険。さらに舗装されたことによって、自転車の高速走行が増えるのではないかと。
→堤防天端の舗装は、堤防の決壊を少しでも遅らせるという観点から必要と考えております。越流時にアスファルト塊の流出の危険性もあるとは思いますが、堤防の決壊までの時間を少しでも遅らせ、堤防決壊による被害を最小化するために実施するものです。
天端舗装による高速自転車の件は、自転車利用者のマナーの問題もあり、各自治体と連携してマナー向上や自転車利用のルールづくりに着手しているところです。

今回の分科会では、担当出張所の工事等の報告に加え、京浜河川事務所から河川ごとに情報提供をさせていただきます。

- 多摩川・浅川
 - ・「多摩川改修100年」
 - ・「多摩川の治水対策等」
 - ・「多摩川の河川環境、多摩川の外来生物(植物)」
- 鶴見川
 - ・「鶴見川の防災情報講座」
 - ・「鶴見川流域バスツアー報告」
- 相模川
 - ・「相模川・中津川河川整備計画」
 - ・「相模川・金目川洪水対応訓練」
- 共通
 - ・「水防災意識社会再構築ビジョン」
 - ・「共同点検」

分科会名	担当出張所	実施会場	参加者数	開催日
鶴見川上流	鶴見(出)	流域センター会議室	2	9月12日
鶴見川下流	新横浜(出)		0	
多摩川下流	田園調布(出)	出張所会議室	4	9月22日
多摩川中流	多摩(出)	ニヶ領せせらぎ館	6	9月8日
浅川	多摩(出)	日野市平山交流センター	3	9月28日
相模川	相模(出)	出張所会議室	5	9月20日

RCM事務局より

今月号では革新的河川管理プロジェクト(第1弾)の「洪水時に特化した低コストな水位計」の現場実証についてご紹介させていただきました。本文では革新的河川管理プロジェクト(第1弾)全体の紹介を誌面の都合で出来ませんでしたが、詳細については国土交通省ホームページ、http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000028.html でご確認ください。

RCM事務局 松本